

# ハザードマップや避難方法を 確認しましょう!

## ハザードマップの確認ポイント

- ◎自宅のある場所の予測される被害程度
- ◎避難場所の位置
- ◎避難場所までの避難経路
- ◎災害時に危険と思われる場所  
(過去に冠水した道路、河川、用水路沿いなど)



## ハザードマップの見方

### 自宅及びその周辺に浸水や土砂災害のおそれがあるか?

自宅の浸水深を確認します。浸水深以上の高さに避難することができない場合は、早期の避難が必要です。

#### 土砂災害

- がけ崩れ  
土砂災害特別警戒区域  
土砂災害警戒区域
- 土石流  
土砂災害特別警戒区域  
土砂災害警戒区域
- 地すべり  
土砂災害警戒区域

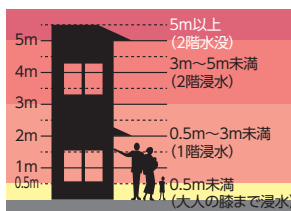
#### 津波

- 津波災害警戒区域

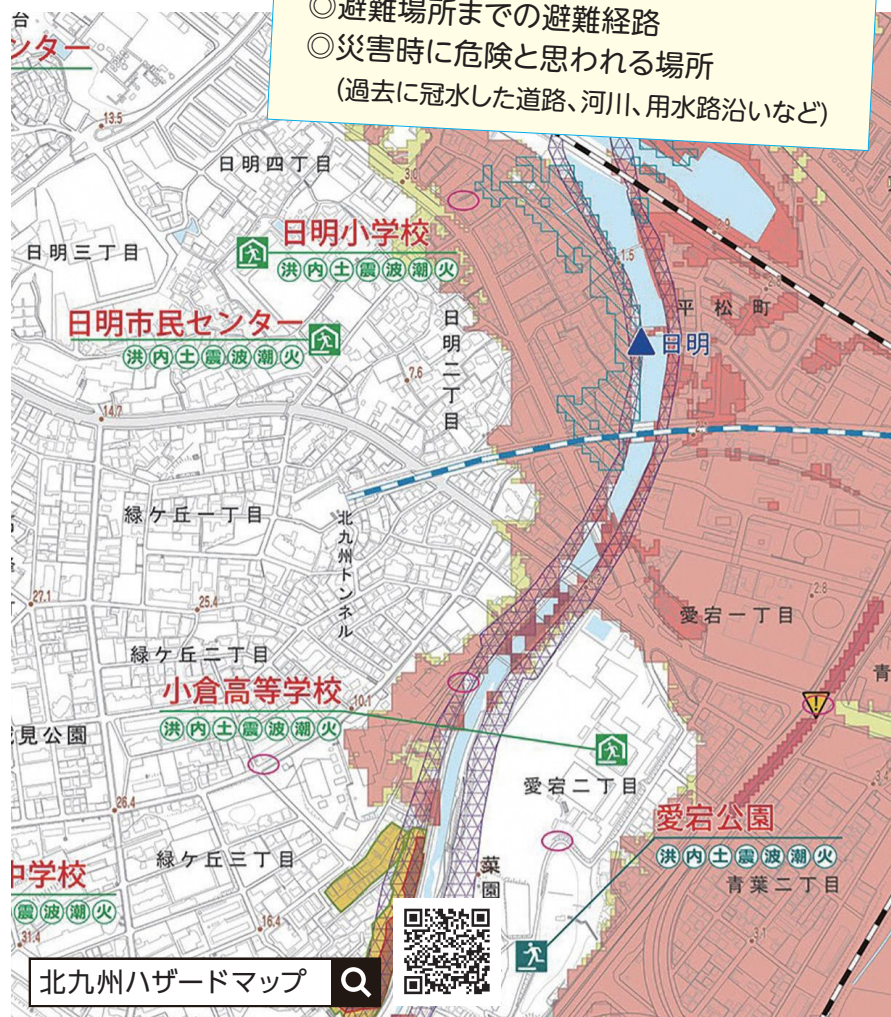
#### 洪水 想定浸水深

- 5.0m以上
- 3.0~5.0未満
- 0.5~3.0未満
- 0.5m未満

#### 浸水深と家屋の関係



- 〈家屋倒壊等氾濫想定区域〉
- 洪水の際に地面が削られるおそれのある区域



※ハザードマップは市のホームページや各区役所総務企画課、危機管理室でも確認できます。

### どこに避難するか?

災害時に避難できる場所を確認しましょう。避難先は、市民センター、小・中学校等の避難所(災害の種類ごとに指定)だけではありません。安全な親戚・知人宅等に避難することも考えてみましょう。

予定避難所

- 一時避難地(〇〇公園)
- 広域避難地(〇〇公園(広))

※災害の種類によって、使用できない避難所があります。各避難所の適応する災害の種類は、

- 洪水 土砂災害 津波 火事
- 内水 地震 高潮 潮

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は? **必ず確認しましょう!**

ハザードマップ\*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

自宅がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、北九州市からの避難情報を参考に状況に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

次の条件を満たす場合、自宅などにとどまり安全確保をすることも可能です。

■洪水の場合(3つの条件を満たすことが必要)

- ①家屋が倒壊・崩壊する恐れがない(家屋倒壊等氾濫想定区域外である)
- ②浸水する深さよりも高い部屋に避難が可能である
- ③浸水しても水が引くまで十分な水・食料などの備えがある

■土砂災害の場合

十分堅固なマンションなどの上層階に住んでいる

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか?

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、北九州市が指定している避難所等に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4が出たら、北九州市が指定している避難所等に避難しましょう。